

今月の谷口雅春先生のお言葉

# 世のため、人のためになる夢を描きましょう

心に夢をえがけ

心に夢をえがくということは何でも大きなことを成し  
就げるのに大切な事であります。夢をえがくと言うの  
は、決して出鱈目なことを考えるのではなく、「必ず出  
来る」と未来におこる善いことを心に思い浮べることで  
あります。コロナブスは、これから西へ西へと進んで行  
けば大陸があると、まだ肉眼に見えない世界を心にえが  
いて突進して行きましたから、とうとう其の心にえがい  
たアメリカ大陸を発見したのです。まだ見えないが、心

の眼でじつと未来におこって来る善き世界を、善き状態  
を、一層よき自分を、心に描くことを「夢を描く」と云  
うのです。  
(新装新版『生活読本』72頁)

他を害するようなことを描いてはいけない

心に強く夢をえがいても、他を害して自分がよくなる  
うとするようなことを心にえがいてはなりません。人を  
押したおして自分が出世するような考えを心にえがいて  
も、その人の心が強く、押しが強い場合にはしばらくそ  
れが成就するのであります。しかし、そうして出世して

も、無理をして出来た出世は、金が出来、地位が出来ても、その金のために悩まされたり、地位のために色々の人が出入して、会いたくない人に会わせられたり、家族が病気になったり、色々の面倒めんどうがおこって来たりするのであります。

（新装新版『生活読本』73頁）

## 人につくすこと、世につくすことを

すべて、金とか、権力とか、名声とか、贅沢ぜいたくとか、利己的なことを心に描いて成就した場合には、多少とも自分を悩ますものがつきそうて来るのであります。真しんに悩みのない生活を送るには、そんな利己的なものを心にえがかず、人につくすこと、世につくすこと、どうしたら人のために、また世のためになるかということを考えてサービスをつとめて行くゆようになれば、金も名誉も地位も自然に得られてくるのであります。金や名前や地位などは目的にすべきものではなく、世のため、人のためにつくした誠まことが自然にあらわれた結果でなければならぬの

です。

（新装新版『生活読本』74頁）

## わたしは運命の主人公である

吾々は自分でわれわれの前途の運命をつくるのです。

運命と云いうのは運がよくてまわってくる天からの命令と云うようなものではなくて、われわれの心でどうにでもなるものなのです。われわれの心で常に思っているとおりには世界は運転してくるのです。世界の運転のしようを自分の思いどおりにしているのが人間なのです。だから人間は運命の主人公であって、人間は運命の奴隷どれいではありません。奴隷には自由がありませんが、主人公には自由があるのであります。（中略）

何でも思った通りになるのです。「力がない」と思えば力がなくなります。「すべての力は与えられているのだ」と信ずれば力が出てまいります。「弱い、弱い」と語りながら強くなったものはありません。「私は病氣だ」と語りながら健康な者はありません。強くなるには常に

「自分は強い、強い」と語らねばならないのです。(中略)  
何でも、自分の心の波長に合うもののみが引つけられて来るのは、波長のあう放送だけがラジオに受信されて音をたてるのと同じことでもあります。「笑う門に福来る」「泣き面に蜂がさす」などと云う諺は、この道理を説いたものであります。幸福と成功と上達と繁栄と希望の夢をえがいて、常にほほえみ、努力をおこたらぬ者のみに真の幸福は来るのです。

(新装新版『生活読本』76～79頁)

### 人間の内には無限の能力が埋蔵されている

人間の内には実に無限の潜在能力が埋蔵せられているのである。深く穿つに従ってどれだけでも豊かにその潜在能力を掘り出すことが出来るのである。穿つとは自覚するということである。自覚しさえすれば埋蔵せる宝は常に掌中のものとなるのである。だから表面にある能力だけを自分の全部だと子供に思わすな。表面にある

「自分」は「真の自分」の唯の「小出し」にしか過ぎないことを知らせよ。「小出し」は使うのに便利かもしれないが、この「小出し」を自分の全部だと思ってしまうたならば大いなる発達は望めないのである。常に子供に教えて小成に安んずるなどいえず。小成は自分の「小出し」に過ぎないこと、今ある彼の能力はすべて「小出し」に過ぎないこと、「小出し」は決して誇るに足りないこと、つねに「小出し」に満足せず、本源、即ち無限の潜在能力(神)より汲むように努力すること——常にかくの如き真理を子供に解る言葉で教えるように心懸ければ、現在の自分に満足する子供の傲慢心は打碎かれ、驕傲は消滅せしめられ、永遠に能力の伸びる精神的基礎は築かれるのである。

(新編『生命の真相』第22巻159～160頁)

